

回想法を模した対話システムの構築と話題生成法に関する検討（研究の進捗発表）

著者	太田 亓成, 綱川 隆司, 遠藤 幹也, 都築 俊宏, 西村 雅史
雑誌名	情報学シンポジウム2019
巻	2019
ページ	S11
発行年	2019-12-24
出版者	情報学シンポジウム2019実行委員会
著者版フラグ	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10297/00027459

回想法を模した対話システムの構築と話題生成法に関する検討

太田壺成(情報学専攻), 綱川隆司(学術院情報学領域), 遠藤幹也(株式会社マルタカテクノ), 都築俊宏(株式会社マルタカテクノ), 西村雅史(学術院情報学領域)

高齢者の認知機能を維持するためには, 「話す」ことで脳を活性化させることが知られている. 「回想法」は高齢者が昔を想起して語り, 聞き手がそれを傾聴することで高齢者自身の人生に対する満足度が向上し, 認知機能の維持や QOL の改善につながると言われている心理療法の一つである. 本研究では, 協調フィルタリング技術を用いた高齢者の馴染みのある音楽の推測に加え, Web からの情報収集を用いて回想法を模した対話シナリオの生成を行う. また, 生成した対話シナリオに基づいた質問と相槌による傾聴を行うことで, 話し手の話す内容に依らずに動作する傾聴対話システムを目指し, その検討とシステム構築を行った.